



細部までこだわった手作り貯金箱 アイデア貯金箱コンクールで文部科学大臣賞受賞

第45回ゆうちょうアイデア貯金箱コンクールが行われ、小絹小学校の諏訪日々喜さん（当時4年）が、文部科学大臣賞を受賞しました。約30万点から選ばれた受賞作品240点の中でも、上位入賞作品で、昨年12月から2月28日にかけて全国で展示された後、現在は小絹小学校で展示されています。受賞した諏訪さんは「賞をもらえるなんて考えてなかったから嬉しい」と笑顔を見せてくれました。



親子で楽しむひなまつり 「るんるんみらい」でおひなさまDaysを実施

子育て支援室「るんるんみらい」では3月1日から3日まで「おひなさまDays」を行いました。この日参加した親子は、おひなさまの工作を楽しんだ後、支援室の先生が手作りした十二単に着替えて記念撮影を行いました。読み聞かせコーナーでは、パネルシアターの上演があり、参加した親子と一緒にひなまつりの歌を歌って桃の節句を祝いました。



参加した3チームは農家への取材や、統計データに基づく提案を実施

農業の未来を本気で考える 筑波大生と市職員が共同研究

市では、筑波大学と連携し、農業の抱える課題解決に向け共同研究を開始しました。この事業では、筑波大学の蓄積する知識や学生たちの柔軟な発想を活用し、若手職員とともに、本市の農業課題の解決に取り組んでいます。3月9日には研究発表会があり、地産地消や新規就農などをテーマに、若者ならではのユニークな提案がされました。



地元産の美味しい食材を味わう 市制施行15周年記念給食を提供

市内の幼稚園と小中学校で2月18日・19日、市制施行15周年記念給食が提供されました。この給食は学校給食献立コンテストで県教育長賞を受賞した献立を元に作られており、本市や県内産の食材がふんだんに使われています。伊奈東中学校の田波祐希さん（当時3年）は「とても美味しかった。つくば鳥と栗のレモン煮が一番好きです」と完食した器を前に笑顔を見せました。